

## 〈リモート合唱〉で新曲初演 埼玉県合唱連盟クラウドファンディングで曲委嘱

埼玉県合唱連盟では、コンクール中止に代わる事業として「コロナ禍でステージがなくなった小中高生のために、〈リモート合唱〉で新曲初演したい!」を企画しています。埼玉県連としては〈リモート合唱〉第2弾です。県連加盟団体のみが対象で、小学6年、中学3年、高校3年生の参加を呼び掛けています。

### 『日々あたらしく』 詩:新川和江、曲:土田豊貴

委嘱作品『日々あたらしく』は、埼玉在住の作曲家土田豊貴氏が、詩人新川和江氏の詩に曲をつけました。この企画はクラウドファンディングで展開しており、支援の受付期間は、2月1日~4月30日です。

### 同声2部・女声3部・混声3部・混声4部・男声4部

『日々あたらしく』の楽譜は、同声2部・女声3部・混声3部・混声4部・男声4部と網羅する形で用意されており、パート別音取り音源とともに埼玉県連HPからダウンロードできます。曲の冒頭部分をYoutubeで紹介しています。  
URL : <https://youtu.be/HEbCvqQjjRI>

締め切りは、①リモート演奏音源または動画は4月8日、②合唱団による完成演奏動画は4月23日です。動画の発表および公開は、①は4月29日予定の県連総会で発表し、その後Youtube配信します。②は同じく総会后配信されます。

合唱団で揃って歌うには、その時点で指示されている感染対策(マスク着用等)を遵守することとしています。詳しくは埼玉県連HPをご覧ください。 <http://saicl.net/>

## 絆創膏と中芯でひと工夫 不織布マスクをより使いやすく

これまで様々なマスクが開発されてきましたが、現時点で多くの支持を得ているのはやはり不織布ではないでしょうか。

ところが、普通の不織布は息を吸うときに口に吸いついてしまう難点があります。プラスチック製のインナーマスクは、プラスチックが直接肌に当たって気持ちが良いものではありません。最近、中央に横の芯が入っているマスクも出回るようになってきました。口に吸いつかず、歌いやすくするにはどうし

たらよいか、なん十通りも試してみて辿り着いたのが以下にご紹介する縦バーを用いたものです。

### ● 用意するもの ●

- ①不織布マスク(できれば中央に横の芯が入っているもの)
- ②使い終わった中芯1本→縦バーに使う
- ③救急絆創膏
- ④両面テープ(必要に応じて)



### ● つくり方 ●

- ①用意した中芯を絆創膏の中央に貼り付ける〈B〉
- ②マスクの折りひだをよく開き、裏にして中央に〈B〉を貼る
- ③必要に応じ補強のために絆創膏で更に止める〈A〉〈C〉、あるいは中央にも貼る
- ④中央の横芯がないマスクの場合は、〈B〉をその位置に貼っても同じ効果を持たせられる
- ⑤顎の動きに連れてマスクが下がるのが気になる場合は、〈A〉の下地として先ず両面テープを貼りその上に絆創膏を裏返しにして貼る→マスクを掛け最適の位置で鼻にくっつける

### ● メリット ●

- ①絆創膏は肌に優しく違和感なく掛けていられる
- ②マスク内にしっかりした空間が作れる
- ③中芯はリサイクルできる、④〈A〉で鼻に固定しているので、ズレることがない

絆創膏のテープ基材には様々な種類がありますが、伸縮性が高く肌にピッタリとフィットし、かなりの動きにも耐えられる粘着性もあり、かつ十分な通気性も備えたウレタン不織布が主流のようです。どこでも安価で手に入ります。

いろいろ工夫し、ご自分にピッタリの形に仕上げてみてください。